

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	166 男女共同参画社会促進事業経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	41 あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	目	18	男女共同参画費
		細目	152	男女共同参画推進経費
		細々目	52	男女共同参画社会形成促進事業経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード 100900	担当者氏名	河野 慶子	連絡先 22 - 9632 (内線) 2180
	名称 人権政策・男女共同参画課			

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	男女共同参画に関連する活動へ、積極的に参画しようとする団体・個人 ※対象件数
成果(どうする)	地域活動の核となる団体や人材が育成される。
根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法・伊賀市男女共同参画推進条例
開始年度	平成 9 年度
終了年度	平成 年度
H22 事業内容	男女共同参画ネットワーク会議員で立ち上げた実行委員会へ事業委託し、平成22年6月26日(土)に「男女共同参画フォーラムいきいき未来が2010」をあやま文化センターで、開催しました。オープニングは「伊賀音楽療法」による歌、演奏、講演会は、講師清水耕介さんによる演題「日本と海外の家族の違い」、その他分科会、市内保育所(園)・幼稚園児による絵画展、「みんなが元気になる一言メッセージ」作品展(市民からの公募作品)など実施しました。
社会情勢の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
フォーラム参加者数		人	目標 300	目標 300	300	300
			実績 350	実績 230		
フォーラム実施回数		回	目標 1	目標 1	1	1
			実績 1	実績 1		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
ネットワークの加入団体数		市民の意識改革を図るため、リーダー的な役割をばたしてくれる団体会員	団体	目標 44	目標 44	38	40
				実績 44	実績 37		
分科会の自主運営と積極的の活動する団体数		開催分科会と活動のPRの団体数	団体	目標 10	目標 10	10	10
				実績 8	実績 10		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
		677	683	689	689
Aの 財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	677	683	689	689
	事業投入人件費(B)	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人
	フルコスト(A)+(B)	5,040	5,040	5,040	5,040
		5,717	5,723	5,729	5,729

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
民間のサービスだけでは市民全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	現在の市内の状況では、団体活動が中心で、地域活動の核となる人材が不足している。
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	最小限コストで実施している。

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	引き続き啓発を進めていく一方で、平成22年度中に女性の人材バンクを開設し、人材の発掘を図るとともに、審議会等政策決定の場での女性登用の拡大に努める。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいない 【詳細】 男女共同参画ネットワーク会議員への事業委託によるフォーラム開催で、男女共同参画社会実現に向け、市民に対する啓発を行うことができたが、人材バンクの開設には至らず、女性登用が伸び悩んでいる。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	大橋 久和
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 男女共同参画ネットワーク会議員を核とした実行委員会主催によるフォーラムを各種事業の中心に位置づけ、市の男女共同参画の気運を高めていくため、現行の事業を継続していく。その際、メンバーの拡大や事業内容を精査しつつ、諸事業の質的向上を目指す。
現時点における課題、その他	現在の市内の状況では、団体活動が中心で、地域活動の核となる人材が不足している。最も意識が遅れている地域での活動が定着しておらず、推進システムの構築が必要である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	第2次伊賀市男女共同参画基本計画の重点項目である女性リーダーの養成に力点を置き、平成23年度から連続講座の開催や人材バンクを活用し、これらとネットワーク会議とを有機的に機能させ、政策・方針決定の場への女性登用や男女共同参画意識の啓発のためのシステムを体系化していく。